



2012~2013

沼田ロータリークラブ会報

奉仕を通じて平和を
Peace Through Service

2012~2013年度 国際ロータリー会長 田中 作次

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 宮澤孝幸 幹事 関 真一 会報編集 飯島千明
例会場及事務所 沼田市東原新町1540 利根郡信用金庫本店内 TEL 0278-24-1177

第2727回 例会報告

2013年1月15日

記録 今井幸吉

例会予告

1/22	新会員卓話 金井君 高橋君
1/29	未定

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2013年1月22日発行 No.28

書道を身近に 楽しく参加して

書家 池田翠雲先生

■卓話者紹介

小菅茂雄君

先生は昭和26年白沢生まれで、宮澤会長とは高校の同級生でした。書歴は、日展入選5回連続、読売書法会理事で審査会員。審査をされる立場は利根沼田で初のことです。謙慎書道会理事。県書道展委嘱。地元では、沼田書道協会相談役をなされています。賞歴は数多く中央では、読売書法展で読売新聞社賞、同励賞、同特選2回連続等々。現在高崎で第32回上毛書道30人展を明日まで開催しています。今日はそのお忙しき中、来ていただきました。

■卓話

沼田ロータリークラブの方々のご活躍を新聞等で見させていただき、皆様方の活動に敬意と感謝を感じております。

一昨年3月震災後に卓話をさせていただき書の世界について大雑把に私の範囲でお話させていただきました。書に親しむ、見る、持つ、参加するという、いろいろな切り口だったと思います。震災後の復興を願うのですが、失われた文化財、作品が数多く、生きている人が再度作れば良いというのではなく、2度とその作品は作れない。この教訓をどう生かしていくかが大事だと思います。日本では地震はさけて通れないもので、対応策はいつも頭の中に置く必要があります。



全国的に高齢化社会で、利根沼田は更に高くなっている状況で、書の世界も同じで、私がまだ若い方にいるくらいです。5~6年前より私と他2人で3人書展を行っています。今まで通りではなく自分達でできる事から始め書道を知っていただきたいと思っております。目で見ると、筆を持つ、書に参加し楽し

んでいただくことを少しでも広める。手習いを始め、作品を出品し上達を感じるよろこびを持って楽しんでいく、そして道に入っていたきたいと思っています。

私は平凡な農家の長男でしたので、こういう立場になるとは思ってみてもないことでした。高校生の時、昭和42年1月14日の土曜日に初めて書に触れ、初稽古でした。今でも忘れません。それ以来46年、3人の先生に出会いました。生家のそばに書の先生がいて、高校のアルバイト先で話しをすることになって、書をしてみないかと進められたのが始まりです。字はヘタだからと断ったら、ヘタだから習ってはと言われ始まり、今まで学校で誉められたことがなかったのが、誉められたりしたので今でも鮮明に覚えています。先生の所で書くけど見本どおりにには当然書けないので、家でも書くようになり、学校は休んでも書は休まず書き続け、気が付いたら朝ということもあり、上手ではなかったけど楽しく、墨の臭いに満足していたと思います。

その先生は中町先生の弟子でしたので、卒業の時に紹介され、中町先生は日展に入選するような先生であがれでした。私も高3の時に県展に出品し奨励賞を初めて受け、それ以来毎年賞をいただき、22才で最高の賞をいただけるようになりました。郵便局に勤めたのも、書道をするためでした。

局に労働組合があり、15年間役員をしていたので、活動によっては休みに出掛ける事も多く、書になかなか打ち込めない時もあり、中町先生からは休めと言われましたが、休むと書けなくなるので、続けられるよう書会には所属して、仕事や組合と書のやりくりをしました。

次に出会ったのが、坊新田の林先生で、東京の梅原先生に先に習っていて、私を紹介していただきました。沼田や県の書と、中央の東京の書ではまったく違う見方でして、目から鱗が落ちるようでした。書に向かう姿勢が違い、そのためには数倍の努力、書に対する考え方は日展を審査する目でした。

その後は、まさかで連続入選され、更に、中央展の審査会員に手が届くようになりました。沼田にもう一人審査会員になれそうな方がおります。若手も育ってきて、次世代の事

も考えるべき時期、立場を感じています。

県の教育委員会と協力して、学校支援で子供に書道を教えるお手伝いをする活動もしています。地域へ書を広める一つです。その意味で上毛書道30人展も行っています。

金剛院で友引寄席をしています。書もお寺や公民館などお茶を飲みながら話しをしたり、書への理解を深められればと思っています。広く多くの方々に理解していただき、世代交代をどう行うか今、取り組んでいます。

利根沼田で中央の作品を展示されるような会場がないのが悩みです。今回も高崎になったのはそれもあり、皆様方にも理解いただき良い作品を見る機会を身近にできれば普及にも力添えになります。文化向上のため、それぞれの立場で、それぞれの活動に目を向けて発展していきたいと思っています。

例 会 報 告

■司 会 赤間昌彦 S A A 出席委員
■ソング 四つのテスト 保坂充勇君
■来賓及び来訪ロータリアン 書 家 池田翠雲様

会長の時

宮澤孝幸会長

先週の新年例会には、総勢70名という大勢の皆様にご出席頂き、誠にありがとうございました。このような皆様のご協力が、大きな励みになり、私自身、後半も更にしっかりした走りをしなればと思います。

さて今月は、ロータリーの理解推進月間でもあり、1月27日を含む1週間は追悼記念週間でもあります。

当初は、これに因んだお話しでもと思っておりましたが、先日桑原敏彦社会奉仕委員長より、昨年12月に開催された震災地域の子供たちの交流「星の絆交流イベント」について気仙沼の人達からの感想レポートを、頂きましたので、今日はこの件についてお話をさせて頂きたいと思っています。

「星の絆交流イベント」関係につきましては上毛新聞で3回に亘り取り上げて頂きました。最初は12月の20日に「輝く絆 気仙沼へ」という見出しで事前PRをして頂きました。そして23日には「星の光に復興願う」という見出しで、気仙沼の子ども達との点灯の記事が大きく載っていました。更に27日

には、沼田ロータリークラブが主催した気仙沼と沼田の子供たちの交流会の様子が、「小中学生 絆を確認」の記事として載せて頂きました。そこで、せっかくですので、今回参加した気仙沼のこども達と、保護者の方の感想を、読ませていただきました。

このような感想文からして、被災地から沼田に来て2泊3日の短い時期ではありましたが、環境も気分も変わり、ひとときではありましたが心身ともに休息出来たのではないかと思います。そして気仙沼と沼田の絆がさらに「深く、強く、固く」、なった事だと思います。今年度、第2840地区、疋田ガバナーのテーマ、「次代を担うこども達に向けて」、また地区運営方針の「被災地及びその未来のある子ども達にとって、私達ロータリアンは何をすべきなのか」の観点からも良い事業だったと思います。桑原敏彦社会奉仕委員長を始めとした委員会の人達、そして全会員の皆様のご協力のお陰と、心から感謝とお礼を申し上げ、会長の時間を終わります。

幹事報告

関 真一幹事

◎青少年交換学生の受け入れについて

今年、8月から来年の7月まで女性学生を受け入れるかについてのお願いを連絡しましたが、可能者無しなので地区に返事します。

◎会員増強SAKUJI作戦について

地区より日本全国の知人等ロータリアン候補者を推薦してもらい、その地域のクラブが勧誘するという事業について協力依頼がありましたのでご協力をお願いします。

◎ロータリークラブ全国野球大会について

7月実施予定で、野球部自費参加。

委員会報告

◎SAA出席委員会

桑原伸一郎委員

・1月15日

会員数	会場出席	メーク	出席率
61名	32名	12名	73.33%

・1月8日

会員数	会場出席	メーク	出席率
61名	32名	12名	73.33%

・12月23日

会員数	会場出席	メーク	出席率
61名	30名	16名	77.96%

・12月18日

会員数	会場出席	メーク	出席率
61名	47名	7名	88.52%

◎ニコニコ委員会

小暮正人委員

- ・宮澤孝幸君 卓話者の池田翠雲先生を心から歓迎して。先生とは高校時代の同級生で卒業から間もなく44年になりますが、まだまだ青春です。
- ・小菅茂雄君 普段大変お世話になっている池田翠雲先生をお迎えでき心より感謝。卓話を心より楽しみにしています。
- ・横山公一君 商工会議所の新年互礼会が120余名の参加で無事終了。本年より地域貢献賞を創設し、5事業所に贈呈。来年も予定しているのでチャレンジして下さい。
- ・前田善成君 茨城から上流に逆流して帰って来ました。皆様には色々心配かけましたが、また仲間に入れて下さい。だれ一人知らない所での選挙は本当に大変でした。
- ・ニコニコ一週間 大雪の中ご苦労様です。卓話に池田翠雲先生をお迎えして。

- 赤間昌彦君 木下 進君 阿形登氏君
- 水石清治君 小暮正人君 桑原伸一郎君
- 松野正一君 櫛淵光彦君 関 真一君
- 桑原 裕君 今井幸吉君 保坂充勇君
- 南雲達也君 戸部聖之君 宮田徳彦君
- 割田一敏君 斎藤正典君 天野純一君

◎財団BOX IN

松野正一副委員長

- 宮澤孝幸君 関 真一君 角田 隆君
- 今井幸吉君 木下 進君 桑原伸一郎君
- 片山晃一君 水石清治君 小暮正人君
- 阿形登氏君 春日政志君 櫛淵光彦君
- 桑原 裕君 宮田徳彦君 戸部聖之君
- 松野正一君 割田一敏君 富澤勝美君
- 前田善成君 梁瀬仁一君

◎情報史料分類選考委員会

松野正一副委員長

1月号友の紹介。1頁の田中RI会長メッセージは、ロータリーの徽章をいつもあなたの襟には、バッチを付ける事の意味、意義を再確認して下さい。6頁の創刊60周年特集もおもしろいです。18頁の新しいロータリーを知るは、3~4年毎に活動を見直して変わっていく所のある所の報告ですから必ずお読み下さい。だいぶ変わってきています。